

第7回SDフォーラム

— 教育の質向上を支える職員の職能開発 —

大学コンソーシアム京都では、2003年度より大学マネジメントに関する公開研究会やSDフォーラムに取り組むとともに、2004年度からは「大学アドミニストレータ」を「大学をとりまくステークホルダー(学生・父母・企業・政府・地方公共団体・NGO・NPO等)のニーズを把握し、トップマネジメントの意思決定を支えながら、構成員や関係諸機関との調整を行い、大学における目標設定やその具体化を図る能力を持つ職員」と定義し、その育成にむけた研修プログラムを実施しています。また、2006年度からは、「職員のための大学セミナー」を開催し、高等教育に関する諸課題について、大学職員の視点から考えていく取り組みを行っています。

7回目を迎える今年度のSDフォーラムでは、中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて(答申)」(平成20年12月24日)にも「大学職員の職能開発」が強調されているのを受け、「教育の質向上を支える職員の職能開発」をテーマとし、基調講演を行うとともに、6つの分科会を設け、学生の受入れから卒業に至る各段階で先進的な取り組みを行っておられる大学より事例報告をいただき、「大学職員の職能開発」について多角的に論じます。また、事例報告後に参加者全員で意見交換を行い、SDフォーラムで得られた成果を今後の個別大学・短期大学における人事政策や人材育成に活かしていただくことを目指します。

[開催概要]

- 日 時 ● 2009年10月18日(日) 10:00~17:30
- 会 場 ● キャンパスプラザ京都 京都市下京区西洞院通塩小路下ル
- 対 象 ● 大学職員の人材育成や人事政策に関心のある大学・短期大学の教職員
(その他、上記内容に関心のある方でしたらどなたでもご参加いただけます。)
- 定 員 ● 180人(先着順)
- 受付期間 ● 《加盟校先行受付》7月23日(木)~8月4日(火)
《一般受付》8月5日(水)~
- 申込方法 ● 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記E-mailアドレスにお送りください。
(「参加申込書」は大学コンソーシアム京都のホームページに掲載)
*電子メールでのお申込みには差し支えがある方は別途ご相談ください。
- 申込締切 ● 2009年9月11日(金) 必着
*申込が定員に達した場合、参加をお断りすることがあります。分科会については、会場の収容定員の都合上ご希望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 参加費 ● 《加盟校》3,000円(1人/当日資料、報告集代を含む)
《非加盟校》5,000円(1人/当日資料、報告集代を含む)
*参加費は当日会場にてお支払いください。
*報告集は翌年1月頃参加者宛に郵送いたします。

申込み・問合せ先

財団法人大学コンソーシアム京都 高等教育研究推進事業部(担当:古武)
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都
TEL:075-353-9163 FAX:075-353-9101 E-mail:sd@consortium.or.jp
URL:http://www.consortium.or.jp/ [トップページ→教職員の方→SDフォーラム]

プログラム

9:30 受付開始

10:00 - 12:00 **第1部 基調講演**

「戦略経営、教学マネジメントの確立と職員の開発力育成」

講師：篠田 道夫 氏（日本福祉大学 常任理事）

大学を巡る厳しい環境は、戦略経営の確立、教育目標を鮮明にした教学経営を求めている。もちろん、マネジメントの改革にはいろんな要素があり、総合的な改革が必要だ。しかし究極のところ、現場で市場や学生、社会に向き合う職員が、競争環境や様々なニーズ、実態に基づいて適切かつ積極的な政策提言ができるか、これが大学改革のレベルを規定する。こうした開発力量をいかに養成するか、新たな職員の役割を考えたい。

13:30 - 16:00 **第2部 分科会**

A 入試広報における職員の職能開発—アドミッションズオフィサーとしての役割

報告者：出光 直樹氏（横浜市立大学 アドミッションズセンター 大学専門職（学務准教授））

報告者は、桜美林大学の大学院にて高等教育を専攻して博士課程の途中から事務職員となり、大学院の教務担当を経て、入試広報の業務に従事。その後、横浜市立大学に転じました。2つの大学での経験を素材に、教育の質の向上を支える職員の役割・職能として、(1) 学びの水先案内人、(2) 入学者選抜（高大連携や入学前教育も含めて）の企画立案者、(3) AO入試の担い手の3つの視点から、話題を提供してみたいと思います。

B 教育付加価値日本一をめざして—職員の役割

報告者：福田 謙之氏（金沢工業大学 事務局長）

教育改革は大学における事務職員の意識と役割を変えるチャンスです。大学全体を俯瞰する力と企画力が求められます。

C 企業や地域との連携プロジェクトによる人材育成

報告者：乾 明紀氏（京都造形芸術大学 芸術学部 准教授／プロジェクトセンター 副センター長）

『社会貢献』、『学生の成長』、『教職員の人材開発』。この3点を同時に達成できるのが、企業や地域と連携したプロジェクト型教育である。大学に求められているこれら3点の目標を達成するためのキモは何か。プロジェクト型教育の実践の中から見えてきたものをお伝えしたい。そして、皆様と人材育成のあり方、大学組織のあり方、地域や企業との連携のあり方などについて語り合いたい。

D 社会が求める人材とキャリア教育の組織的取り組み

報告者：足立 寛氏（立教大学 総長室 調査役）

08年の中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」では、キャリア教育を「教育課程の中に適切に位置付ける」と明記し、大学に組織的な取り組みを求めている。大学は、学士課程教育と正課外活動を合わせた人材育成の中にキャリア教育を適切に位置付け、実質化を図る必要がある。さまざまな調査データによる分析も含めて、いくつかの大学の先進的取り組み事例を紹介したい。

E 大学の教学マネジメントにおける I R

報告者：鳥居 朋子氏（立命館大学 教育開発推進機構 教授）

近年、日本では I R への注目が高まっています。本分科会では、I R の先進国であるアメリカやオーストラリア等の大学の事例から示唆を得ながら、大学に求められる教学マネジメントにおける I R のあり方について検討します。とくに、I R の機能を日本の大学において開発することを念頭におきつつ、検討すべき問題や組織的な課題について、参加者とのディスカッションを通じて深めていきます。

F これからの大学を支える職員像と横浜国大職員塾の試み

報告者：村田 直樹氏（独立行政法人日本学術振興会 理事）

大学を取り巻く環境が変化する中で、大学職員に求められる能力、役割も大きく変わりつつあります。国公立を通じて大学は、これまで以上に厳しい経営環境の下で、様々な競争的資金の確保や教育研究の質の向上等の課題に対応していく必要があります。教員と分担しながら、大学職員がその役割を果たしていくための能力開発について皆さんと考えてみたいと思います。

16 : 15 - 17 : 15 **第3部 交流会**

大学アドミニストレーター論

戦略遂行を担う職員

篠田道夫(著)

これから2010年に向け、まさに私学経営は正念場を迎える。自らの存在意義、特色を明確に作り出す戦略と、その実現のためのマネジメントが求められている。そして、その推進の重要な一翼を職員が担っているということは、誰もが認めるところとなった。

問題は、抽象的な職員の役割論ではなく、こうした現場にいる職員の問題意識や提案が、大学の運営や改革に生かされる仕組みになっているかどうかにある。

戦略の策定と遂行過程に、職員の力を発揮させ、その役割を決定的に高めることが、大学職員がアドミニストレーター、すなわち大学行政管理職員や教育・学術専門職員として成長し、確固たる役割を果たす道である。(本書まえがきより)

本書の構成

- 序章 アドミニストレーターへの前進の課題
- 第1章 競争と淘汰の時代に求められるもの
- 第2章 戦略経営の構築
- 第3章 職員の新たな役割
- 第4章 「大学職員論」の到達と今後の課題
- 第5章 新たな大学管理者像の構築を目指して
- 第6章 日本福祉大学事務局建設30年の歩み
- 第7章 持続的改革を支える管理運営とマネジメント
- 第8章 日本福祉大学の人事育成制度の構築
- 第9章 私大の個性を生かし改革を励ます評価



新書判248頁
定価1,000円(税込み)



著者プロフィール

篠田道夫 (しのだみちお)

昭和25(1950)年長野県伊那市生まれ。愛知大学法経学部卒業。昭和47年より日本福祉大学に勤務。図書館課、学生課を経て広報課長、庶務課長、総務部長、大学事務局長、学園事務局長を歴任。平成5年より学校法人日本福祉大学評議員、平成9年より同理事に就任、現在常任理事。日本私立大学協会附置私学高等教育研究所研究員。桜美林大学大学院国際学研究所修士課程大学アドミニストレーション専攻「大学職員論」担当非常勤講師。平成17年度まで愛知県私立大学事務局長会会長を務める。

著書 『大学とガバナビリティー・評価に堪える大学づくり』学法文化センター(共著)

『大学職員論—経営革新と戦略遂行を狙うSD』地域科学研究会

学法文化センター出版部

東京都千代田区九段南 4-7-5 電話 (03) 5211-0026 FAX (03) 5211-6355